

コリノキの町から 風の便り 58

2023 (令和5) /8/1.
八千代・ゆりのき台 辻 秀幸

チョウチョ第2弾 (昆虫綱・チョウ目)

チョウチョはこれで在庫一掃大蔵ざらい。チョウ目には大ざっぱに分けると蝶と蛾がいる。蝶の名前を調べるのはわりと楽だ。それに対して蛾の方は名前不詳の写真が幾つもたまった。卵から成虫までを含めた網羅的な図鑑がほしい。しかし、飼育しなければ確認できない。蝶の方は数が少ないのでそういう図鑑がいくつも作られている。蛾の方は数が多いので、えせ昆虫博士が使えるような図鑑作りはまだまた難しい、と聞いた。(参照: No.41、15、48、54)

シジミチョウ (シジミチョウ科) を3種

ベニシジミ 2022/6/19. 船橋・浜町1.「浜町公園」

白っぽいイメージのシジミチョウが多い浜町公園で出会うと、別種類に見える。これも同じ科だと図鑑で知った。



ウラナミシジミ 2022/10/2. 船橋・浜町1.「浜町公園」

見えているのは羽の裏。表は紫色。表裏色違いで飛ぶとかなり目立つ。天敵に狙われやすくないかと心配するが、鳥の目にはチカチカするんだかわけのわからない物に見えるのだろうか。



ヤマトシジミ 2022/8/20. 船橋・浜町1.「浜町公園」

浜町公園で多く見られる。ウラナミシジミのようにリバーシブル仕立ての衣裳を着ている。表の色は紫系で、目の前でうらおもて交互にチラチラされるとつい目で追ってしまう。

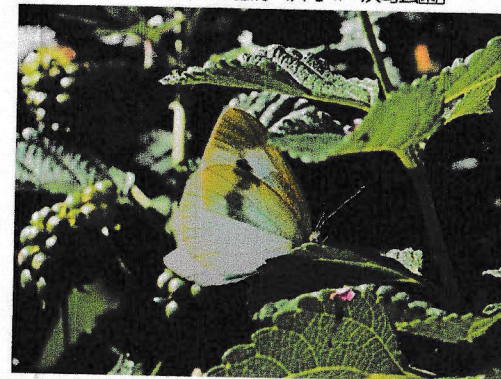
シロツメクサのお花畑で花に止まっている時は周囲に溶け込んで目立たないが、飛び立つといっぺんに存在がばれる。あちこちでチラチラヒラヒラすると、おしゃべりしているようだ。(No.41 に表側写真)



モンシロチョウ (シロチョウ科)
2022/6/17. 船橋・浜町1.「浜町公園」



スジクシロチョウ (シロチョウ科)
2021/10/18. 船橋・浜町1.「浜町公園」



菜の花畑が身近にあった頃、ごく当たり前に蝶が飛んでいた。白いのをモンシロチョウ、黒けりゃアゲハと覚えた。菜の花は千葉県を代表する花だが、浜町では庭で咲かせる家がたまにある程度なので、モンシロチョウにはめったに出あわない。

白いからシロチョウ科。なのだが、鮮やかな黄色というのもある。

蝶と蛾は、共にチョウ目。逆に姿も名前も似ているけれど別仲間という例が「優曇華」の親クサカゲロウ。図鑑のカゲロウ (カゲロウ目) のページを探していたが、違う仲間のアミメカゲロウ目と知った。ページも系統分類表も離れて位置する。

さて、どのへんで蝶と蛾と呼び分けているのだろうか。次のは境界線あたりだろうか。

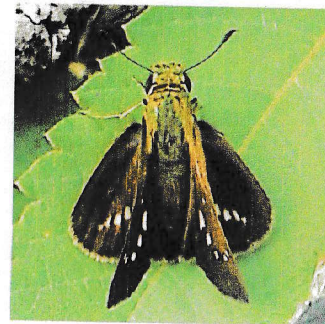
イチモンジセセリ (セセリチョウ科)

ウメエダシャク (シャクガ科)

下左は蝶の仲間のイチモンジセセリ。浜町公園ではよく見られる。羽を半開きにしてゆっくり動かし。比較的写しやすい。一般的な蝶というイメージはない。

下右は蛾。イモムシ時代はシャクトリムシと呼ばれるシャクガ (尺蛾) の一種、ウメエダシャク。羽を閉じて止まるのは蝶の特徴に数えられる。

シャクトリムシはまだ見たことがない。気がつかないだけかもしれない。



← イチモンジセセリ
2019/9/12.
船橋・浜町1.
「京葉道路」南法面

⇒ ウメエダシャク
2018/6/16.
船橋・浜町1.
「浜町公園」

